食道がん手術後の患者さんを対象にした電話相談に関する診療情報を用いた研究へのご協力のお願い

帝京大学医療技術学部看護学科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:（倫理委員会審査承認日 2021 年　月　日）～ 2025 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

食道がん術後の退院後テレフォンフォローアップの実態

〔研究目的〕

電子カルテと看護師が行っている電話を使ったフォローアップ情報を収集し、食道がんの手術を受けた患者さんが、退院後の数週間に、どのような症状を経験し、日常生活にどのような影響があるのか、それらに対する看護師の支援の実際について明らかにします。

〔研究意義〕

患者さんは、病院から退院された数週間の間に様々な問題に直面すると言われています。そのような患者さんの現状や課題を明らかにすることは、看護師による電話を用いたフォローアップをより効果的なものにするための資料となります。

〔対象・研究方法〕

- 対象となる患者さん

  恵佑会札幌病院で、2018 年 1 月から 2021 年 10 月 31 日の間に、食道がんに対する再建術を伴う手術を受け、退院後に看護師による電話のフォローアップを受けられた方です。

- 利用するカルテ情報
  - 患者背景：年齢、性別、現病歴・既往歴、身長、体重、家族背景、就業状況等
  - 治療経過：入院日・手術日・退院日、術式、合併症の有無、術前補助療法の有無、入院中に出現した症状や食事摂取状況等、採血データ（アルブミン、プレアルブミン、総たんぱく、ヘモグロビン、総コレステロールなど)、外来受診時の状況など
  - 電話相談記録：電話相談で話された症状や心配事等

  ※この研究のために新たに検査などを追加したりすることはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医療技術学部看護学科　研究責任者：南川雅子

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で収集した情報は、分析する前に氏名・患者 ID などの個人情報を削り、新たな番号をつけ、どなたのものかわからないようにします。患者さんの個人情報と匿名化したカルテ情報を結びつける情報（連結情報）は、研究者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみ参照します。また当該論文等の発表から 10 年経過した後、完全に抹消し、破棄します。なお連結情報は調査施設内のみで管理し、外部には一切持ち出しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

【研究組織】
研究責任者：南川雅子　帝京大学医療技術学部看護学科　教授
共同研究者：長岡波子　帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻　博士後期課程　大学院生
研究協力者：渡辺由美　恵佑会札幌病院　副院長/看護部長

【連絡先・相談窓口】
帝京大学医療技術学部看護学科
研究責任者：南川雅子
共同研究者：長岡波子
住所：〒173-8605　東京都板橋区加賀 2-11-1
TEL：03-3964-1211（41913）
e-mail：m-mnmkw@med.teikyo-u.ac.jp